

ヒル類

| ヤマビル | | | | | | | | | | 活動期間 | | |
|------|---|---|---------|---|---|---|---|---|----|------|----|--|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | |
| | | | ←—————→ | | | | | | | | | |

ヒル類は環形動物に分類されるミミズなどの仲間です。

生息場所は湿度が高い谷間などです。見た目が不快、不気味であるうえに、吸血する種類がいます。

■ ヒトに害をあたえる種(吸血被害)

- ヤマビル
- チスイビル など



ヤマビル

大きさ : 25~35mm

体色 : 茶色

背面には3本の黒色の縦筋

腹面は橙色

➡ ヤマビル

秋田県から南に広く分布する陸生のヒルの仲間です。

県内でも県南部地域などで生息が確認されています。

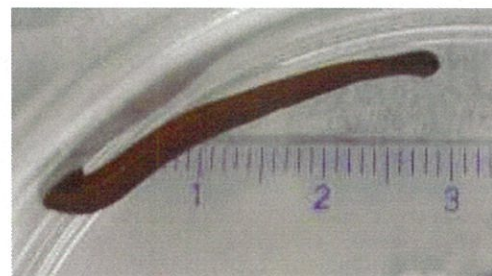
吸血源となる動物が近づくと、呼吸、熱や振動などに反応して素早くちかづき、皮ふなどにとりつきます。体の前後にある吸盤でしっかり吸着して、歯で皮膚を切り、吸血をします。

気温25℃以上、湿度60%以上の、雨の日や雨上がりに活発に活動をします。

吸血から約1ヶ月後に産卵します。

(雄雌同体のため、単為生殖で増えます。)

冬は石や落ち葉の下で越冬します。寿命は2年から3年です。



写真のヤマビルは

収縮時は約20mmで、

約50mmまで伸(の)びました

生息場所

溪流沿いの山林に多く、日陰で湿気がある場所(獣道、林道、登山道など)に生息して吸血する動物の接近を待ちます。



雨の日は樹上にもいます

被害

ヒトや動物から血を吸います。吸血されているときに痛みはありませんが、血が止まりにくくなります。これはヒルのだ液にふくまれる物質(ヒルジン)の影響(えいきょう)です。

キャンプや登山などの野外活動中に、「汗をかいたような違和感があり、手でぬぐったところ、血がつき、驚く」、「靴下が真っ赤になっていた」という状況になり、ヤマビルに吸血されたことに気がつきます。

■ 病原性

- 病気をうつすことはありません

☆ 二次感染 ☆

傷口を搔(か)いたことによる

細菌感染に気をつけましょう！



吸血前(左)と
吸血後のヤマビル(右)

予防

☆ ヤマビルを近づけない ☆

- 虫除けスプレー
- ヒル専用忌避(きひ)剤
- 濃度20%以上の塩水に一晩浸したタオルを首にまく、靴下をはく
- 忌避剤をつけたタオル、長靴などの着用

☆ 皮膚を露出しない、隙間をつくらない ☆

ヤマビルは生後約1週間後から吸血活動を行います。成虫になる前の体長は5mmと非常に小さいです。

⇒ 腕時計のバンドの穴から吸血されたケースがありました

- ズボンのすそは、靴下の中にしっかり入れましょう
- 首をタオルなどで覆(おお)いましょう
- 長靴などをはいたときは、ガムテープなどでしっかり隙間をなくしましょう

野外活動をおこなう時は、虫除けスプレー、殺ヒル剤スプレー、消毒用エタノール、塩をもっていくと、万が一、ヤマビルに吸血されそうになった時のヤマビルの除去に役立ちます。また、ヒルの生息地に入る場合は、アルコールを入れた小瓶(こびん)などを持ち歩き、ヒルがついたら、瓶の口をヒルにあて、アルコールの中に落下させる、などの予防方法があります。

■ ヤマビルに吸血されたら

1. ヒルを取り除く

◎ 吸盤をもっているため、引っぱっても簡単にはとれません

- ヒル専用忌避剤、殺虫剤をかける
- 虫除けスプレーをかける
- 塩をかける
- 消毒用エタノールをかける

にげろー！



2. ヒルを殺す(産卵を防ぐため、生息場所をひろげないため)

◎ ヤマビルの体は弾力性があります。靴で踏んだだけでは殺せません

- 塩, 消毒用エタノールをかける
- ハサミなどで切る
- 殺ヒル剤をかける



3. 傷口の洗浄

- 指でつまみ, ヒルジンを絞り出しましょう
- きれいな水や消毒用エタノールで洗浄しましょう

4. 手当て

- 絆創膏を傷口に貼りましょう
- 出血が止まらないときは, 圧迫止血をしましょう
- 痒みがある場合は, 抗ヒスタミン軟膏をぬりましょう

☆ アンモニアは使わない ☆

◎ 発熱, 激しい痒みなど, 症状が改善されない場合は, 医療機関を受診しましょう

☆ お風呂に入ると, 再び出血する場合があります ☆

○ヤマビルの生息地の拡大防止のため, 生きたヤマビルを他の地域に持ち込まないように心がけましょう。



■ その他の有害なヒルたち

- ➡ チスイビル : 日本各地の水田, 湖沼, 湖, 小川などの水中にいます
ヤマビル同様に, 吸血源の動物たちの体の外部に吸着して吸血し, 満腹になると落下します。
血がなかなか止まりません。
- ➡ ハナビル : 山地の溪流に多いです。水生昆虫の幼虫やイトミミズを食べています。誤って幼ビルが長期間にわたり鼻腔や咽頭に吸着して肥大し, 呼吸困難をおこすことがあります。山梨県内での生息は確認されてはいません。



チスイビル
体長 : 約30~40mm

◎ 豆知識

ヒルの仲間ではないですが, ヒルと似た名前がつく生き物がいます。
雨上がりの路上や庭, 台所などで普通にみられます。
人に害をあたえることはありませんが, グロテスクな姿から, 不快害虫として相談を受けることがあります。ミミズなどを食べます。



コウガイビル
体長 : 約5mm~120mm

更に詳しい情報を知りたい場合は, 以下の図書を参考にしてください。

1. 梅谷献二 編 : 野外の毒虫と不快な虫 全国農村教育協会 (1994)
2. 山梨県福祉保健部衛生薬務課 衛生公害研究所 : 日常生活と周辺の虫たち (2001)

<参考文献>

1. 谷重和 石川恵理子 : ヤマビルの生態とその防除方法 森林防疫 FOREST PESTS No.638 (Vol.54 No.5) (2005)

<参考ホームページ>

1. ヤマビル研究会 HP : <http://www.tele.co.jp/ui/leech/index.htm>